

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	タイムこどもデイサービスゆっく		
○保護者評価実施期間	2025年2月17日		2025年3月4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年2月21日		2025年3月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1対1対応のため、利用者に寄り添って支援が出来ます。	同じプログラムにならないようように気をつけています。	本人の支援の幅を広げるためにスタッフは研修を受けています。
2	会議を行い、スタッフ間での情報共有をしています。	ひとりひとり適した支援とその時に応じて、声を掛け合いして、連携を図っています。	ゆとりのある支援ができるように、支援の準備を毎回しています。
3	多様な専門職の方にアドバイスを受けながら支援の計画をたてています。	内部、外部の研修を積極的に受けて支援に活かしています。	内部研修を充実させ新たな職員の成長に繋げていきたいです。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	玄関に段差があるため足元が危ないです。	ひとりひとりに声掛けをして、安全を図っています。	必要に応じてスロープをつけています。
2	合同イベント以外、他のデイ等の交流が少ないです。	利用者様の状態で集団に参加できないことがあったりします。	長期休みを利用して、いろんな体験をしてみたいと思っています。
3	駐車場から雨に濡れないで玄関に行くことができません。	玄関までのルートに屋根がないです。	大人と利用者さんが一緒に入っても、雨に濡れないように大きめの傘をさしています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	タイムこどもデイサービスゆつく		公表日	2025年 3月 28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		午後は少ないので十分である	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		1対1の配置である	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		玄関がバリアフリーではないが、台をおいている	スムーズに移動できるようにスロープを使用したりしている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日消毒を行い、おもちゃ等の整理整頓を行っている	テーブルや、椅子など形大きさがバラバラなものがある
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		通常の以外に、クールダウンできる部屋がある	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		年度当初に、事業所および職員個人の目標を出し合っており、年度末には振り返りを行っている。	年度途中でも行っていきたい
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者の意向に沿うよう会議等で話し合っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎日にミーティング、月2回のかのん会議、月1回の合同会議にて皆さんから意見をだしもらい業務改善につなげている。	送迎車に関する課題が多い
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			法人第三者委員がやっていますが、外部評価もやれるようにしていきたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		毎月の合同会議やゆつく会議でミニ研修を、年2～3回は外部講師の全体研修を行っている。また、定期的に専門家の指導を受けている。	外部研修は午前中の研修が多いため、ゆつくは参加できないことも多いので、動画視聴や個別研修も試みている
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。				※3月末までに公表することになっており、現在各デイにてまとめている最中ですので、できあがり次第HPに公表する
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		会議で話し合い計画を作成している	子どもと保護者のニーズが異なるだろうと思われる場合の調整の仕方が難しい
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		会議で気がついたこと、気になったこと話し合っている	全員参加が原則だが、参加できなかった人への報連相の仕組みを考えていきたい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		会議で確認している	検証・達成のための支援方法の調整・共有が必要である。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		相談支援のものを使用している	今後独自のものを作成していきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		年度当初にガイドライン・5領域の学習会を行い、新しい様式での個別支援計画書を使ってねらい・支援内容の共有を行った	「移行支援」、「地域支援・地域連携」については、まだまだ面談等での保護者との調整や学校・医療機関・地域との連携が必要である
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		会議でみんなで話し合って立案している	※3月末までに公表することになっており、現在各デイにてまとめている最中ですので、できあがり次第HPに公表します
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		季節の行事、制作をしたり様々な体験を組み合わせようとしている	人数が少ないため、なかなか色々な活動に取り組むことが難しい

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個々の状況を観察し天候や体調に合わせて行っている	他のデイサービスと合同してできる行事に参加できるようにする
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		利用者の体調をみてながでできるもの考えている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		報告書などに記録して、次の利用日や会議で確認している	重要なことはブルーライン等を用い、早く伝達できるように工夫する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		連絡帳や、ひとりひとりにあわせたプログラムを確認し、報告書に記載し、会議等で確認し合っている	日々の記録は全員が必ず読み、サインするように徹底する
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		モニタリング会議をもうけ見直しをしている	半年以外でも、必要に応じモニタリングを行っていききたい
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	<input type="radio"/>		4つの基本活動を組み合わせ支援できるようにプログラムを考えている。	地域交流の機械の提供がコロナ後少なくなってしまったので、多方面から考えていききたい
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		散歩などのコースを選んでもらったり、制作者色や形など選んでもらっている	選択できるまで「待つ」姿勢が大切である
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		管理者兼児童発達責任者が参加している	会議の報告を行っているが、全員に浸透しているかの検証が必要である
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		学校や医療機関とは必要に応じ行っている	学校・医療機関との連携をもっとしていく必要性を感じる
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		送迎時に情報を共有し、連携調整している。また要請に応じ、学校の会議に管理者が参加したりメールで行ったりしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		ゆっくの児童デイサービスを利用していたため、引き継ぎはきちんできています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		現在、該当者なし 過去には、管理者・児発管が事業所を訪れたりして情報を共有していた	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援センターではないが、発達障害センターの方にスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けている	地域の児童発達支援センターとも連携を図っていききたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		なかなか難しいが、公共施設や公園で遊ぶ機会はある	公共施設や公園で遊ぶ機会をふやしていききたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		児童発達責任者が参加している	今後も要請があれば参加していききたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		送迎時、連絡帳や、メール等で伝えている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		現在ニーズがあるかは定かでない	ニーズに応じて行っていききたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		契約時に行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		契約時や面談時に意向を確認し、個別支援計画に反映している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		計画を説明しながら同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		面談や電話、メールでおこなっている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>	保護者会は年1回行っている。兄弟同士の交流の機会は行っていない	保護者会の参加者を多くしていくよう工夫していきたい。兄弟の交流はニーズがあるのかを調査して、必要ならば行っていく（今のところ、必要と答える保護者は少ない）
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>	苦情には迅速かつ誠実に対応している（つもりである）	苦情を言っただくのはとても難しいので、風通しの良い事業所を目指していきたい。また、丁寧に対応していきたい
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>	毎月の「デイ通信」の発行、HPへの掲載を行っている	今後は、「毎月のプログラム」もHPに掲載していく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>	契約時に、「個人情報同意書」「通信や展示作品への個人名の掲載の同意書」をいただいている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>	絵カードや写真、ジェスチャーを使ったりしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>	毎年『ぼくらのアート展』を開催し、絵画や工作等を通して交流を図ったり、久喜市等のイベントに参加している。コロナ前は、地域交流イベント「X'mas会」に招待していた	また、以前のように地域交流イベントを開催し、地域の方を招待したい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>	マニュアルは全て作成し、訓練も行っている。また、面談時に保護者に「避難場所の確認と経路」「災害時訓練計画」の説明はしている	一部のマニュアルに関しては、周知徹底がされてないので、全マニュアル周知していきたい
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>	業務継続計画（BCP）を策定し、研修・訓練も行っている	通信機能が使えないときの判断を考える必要がある
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>	てんかん時等の対応の仕方や救命救急講座を実施している	予防接種の確認は、今後の課題としたい
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>	現在該当者はいないが、アセスメントの中で保護者から詳細をお聞きし対応する	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>	安全計画書は作成し、研修・訓練を行っている	カメラ設置等、防犯対策にも今後は力を入れていきたい
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>	安全計画書をマニュアルファイルに綴じ込み、いつでも閲覧できるように入口に置いてある	面談時に、保護者に安全計画・取り組みをお話し、連携を得られるようにする
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>	ヒヤリハットは3日以内に提出して、ミーティングやゆつく会議で再発防止について話し合っている	ちょっとしたことで気づいたことは、全員がヒヤリハットや気づきシートに書くよう徹底していきたい
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>	ディ合同会議でのミニ研修、外部講師による全体研修、県の動画研修、久喜市の研修等の機会を確保している	参加できなかった人への対応は動画視聴にし、全体研修への参加率を100%にする
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>	現在、該当者はいない。ゆつく会議→身体拘束適正化委員会で話し合っ、保護者の同意書をいただき個別支援計画書に記載する決まりになっている	身体拘束は最後の手段なので、そうならない支援方法を考えていきたい	